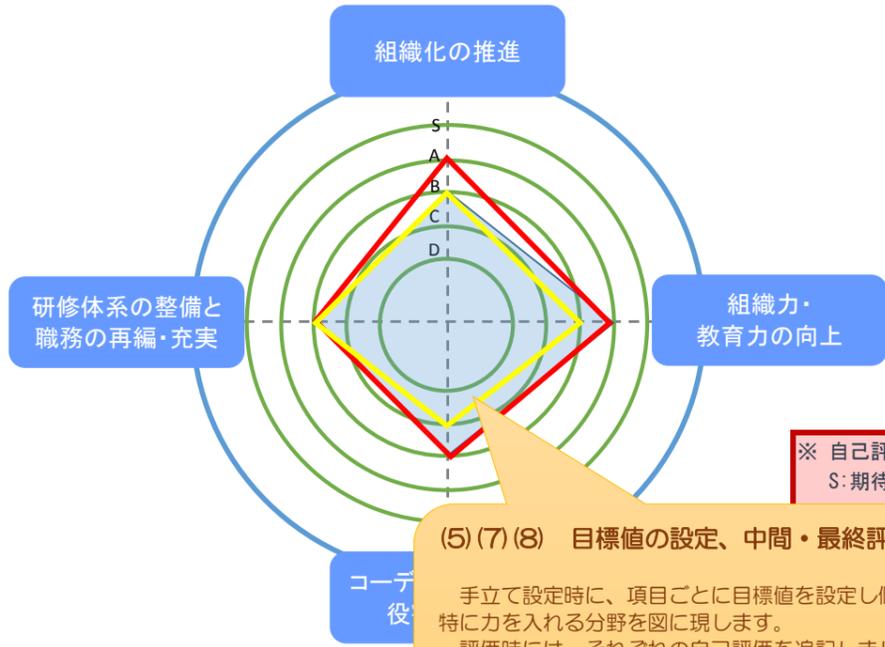


アクションプラン会員実行シート



I 学校経営 グランドデザイン (重点目標)	○確かな学力と学習習慣を持つ生徒の育成 ○心豊かで思いやりのある生徒の育成 ○正しい判断力と強い意志を持つ生徒の育成 ○心・身ともに健康に育つ生徒の育成
------------------------------	---

福島県公立小中学校事務 研究会グランドデザイン (目指す姿)	○教育を推進する ○教育関係機関と連携する ○地域社会に貢献する
--------------------------------------	--

IV 目標(具体的課題解決のための目標)	学校徴収金の取り扱いについて、統一し徹底する
----------------------	------------------------

※ 自己評価… (VI 目標値設定・IX 中間評価)	S:期待される以上の能力が発揮できた A:期待される能力が発揮できた B:期待される能力が発揮できた C:期待される能力が発揮できた D:期待される能力が発揮できなかった
----------------------------	---

II 実態(現状)の把握	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材費の集金において、担任が... ● 教材の購入において、購入回いが出されていない。 ● 一部の教材費の支払いが遅延している。 ● 会計に係わる内規が...
III 課題とその要因	<p>課題 校内での徴収金の取り扱いがバラバラである。</p> <p>要因 教員の集金事務に係わる時間が不足している。 教材や徴収金(公金)について...</p>

活用のしかた

(1) 学校が掲げている目標を記載

私たちが行っている仕事や、学校運営の中でどのようにかかわっていくのか、その位置づけを明確にするため、記載します。

(2) 実態(現状)の把握

その目標に向けて、実態(「できていること」「できていないこと」)を把握します。

(3) 課題とその要因

実態から解決すべき課題を整理・焦点化し、その要因を探ります。

(5) (7) (8) 目標値の設定、中間・最終評価

手立て設定時に、項目ごとに目標値を設定し個人が特に力を入れる分野を図に現します。
評価時には、それぞれの自己評価を追記しましょう。
例示では目標値を水色の領域、評価をそれぞれ黄・赤の太線で現しました。

(4) 目標の設定

課題解決のための目標を設定します。

(6) 工程表の作成

工程表に、手立てごとに期限を設定し記載します。
時系列ごとに整理することで、目標達成までの取り組みが可視化され、わかりやすくなります。

(7) 中間経過及び追加・変更事項等

中間評価時までの取り組みの経過を確認し、変更や追加の手立てが必要な場合には書き加えます。また、チャートにも中間評価を記入します。

(5) 目標達成のための手立て及び目標値の設定

目標達成のための手立てを考えます。自分の経験年数等に応じて、アシストシートなどを参考に設定します。

(8) 評価及び次年度への課題

年度末には、自己評価を行います。設定した目標について、自分の取り組みの評価及び次年度へにつながる課題を確認します。また、チャートにも最終評価を記入します。

V 目標達成のための取り組み	① 連携グループ(他校)の実態(集金方法等)を調査収集する	② 「校内会計事務システム」を活用し、問題点の見直し、不足を補い、あわせて不祥事防止の徹底を図る	③ 業者・保護者との連絡調整はかる	④ 県・市の学校徴収金取扱いについて学ぶ
	⑤ 内規作成にかかる資料の収集	⑥ 校内の集金の取扱い変更を周知する ⑦ 教職員(担任)からの意見を集約する ⑧ 内規の骨子を作成する ⑨ 「学校徴収金取扱規定」を作成する ⑩ 支払い・発注の窓口となり集金をとりまとめる	⑪ 年間での使用教材の見直しをたてる ⑫ 教育効果を高めるための改善策を手案する ⑬ 予算計画にかかわらず、	
VII 工程表	① 情報収集	② 本校で問題となっていることについて、校 ③ 関係機関との調整		
	④ 研修会や事務研の資料を活用し、学校徴収金の取り扱いについて学ぶ。			
	⑤ 資料の収集	⑧ 骨子作成 ⑥ ⑦	⑨ 規定の作成	⑪ ⑫
	⑭ ⑮	⑩ 支払い・発注の窓口となり集金をとりまとめる。		⑬
	⑬ 日ごろの実践を基に、より良いシステムとなるよう不都合な部分については改善を進める。	⑯ 教育過程編成に合わせ、教育条件整備の情報収集や提案		⑮
				⑮

追加・中間経過事項及び
次年度への課題

4月	問題点の見直し
5月	同中学校区の学校から情報収集 集金の取扱いの変更を管理職と相談
6月	試行実施・意見集約
	年度末には、自己評価を行います。設定した目標について、自分の取り組みの評価及び次年度へにつながる課題を確認します。また、チャートにも最終評価を記入します。
課題	<p>I 一時的な現金保管に対応するシステムの構築が必要である</p> <p>II 「学校徴収金取扱規定」の教育計画等への位置付けを確立する必要がある</p> <p>III 学校評価等から会計に係る課題を見つけ、解決策の提案の必要がある</p>